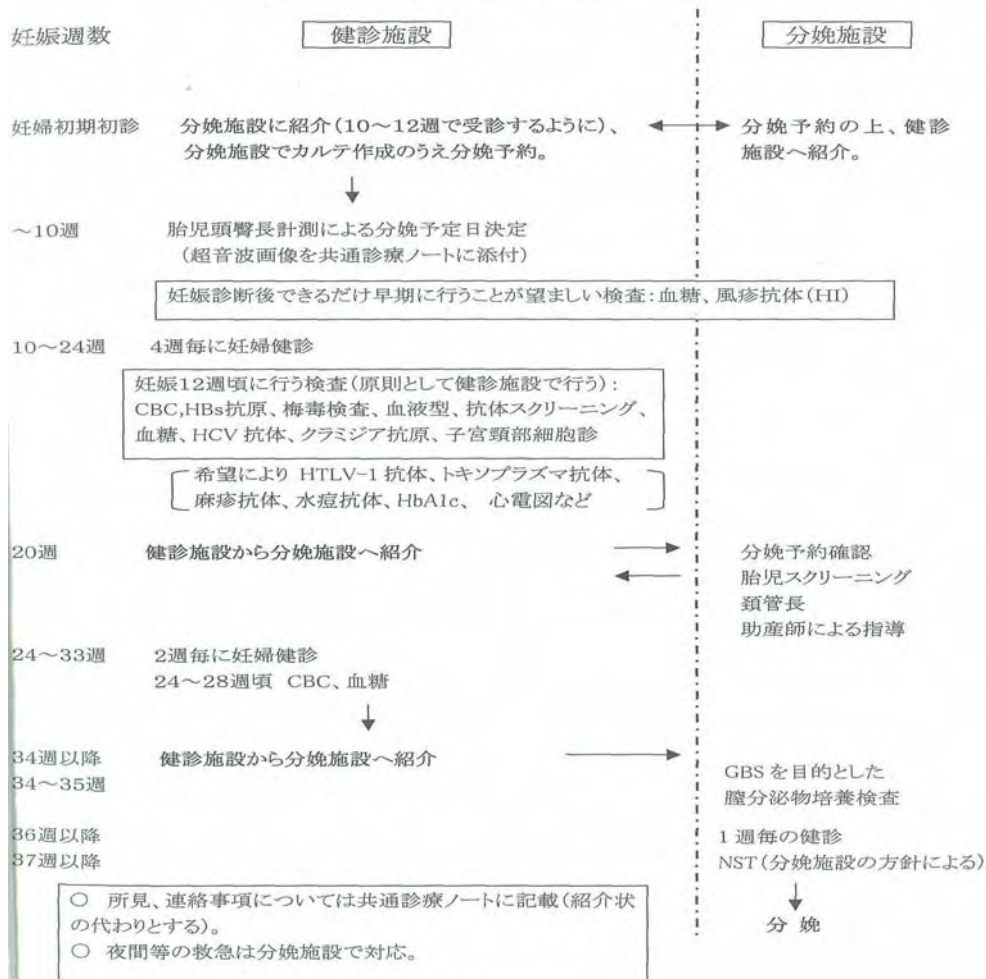


仙台市産科セミオープンシステム診療マニュアル

妊婦健診クリティカルパスのフローチャート ver20060701



妊婦健診・出産に伴う検査のご案内

妊娠中の母体の健康管理や種々の病原体の母子感染を予防するために、現在様々な検査が必要となってきています。仙台市産科セミオープンシステムではこれらの検査を統一し、システムに参加するすべての妊婦さんに同様な検査を受けていただいております。以下に検査の内容を簡単に説明しました。不明な点は担当医にお尋ねください。その上で検査同意書に署名し、医療機関に提出してください。

検査にかかわる費用は保険適応外で全額自費負担となります。妊婦一般健康診査受診票により一部は公費負担となりますが、その内容は市町村により異なります。また医療機関によっても料金が異なりますので、詳しくは窓口でお尋ねください。

妊婦診断後できるだけ早期に行うことが望ましい検査

- 1 風疹抗体価
妊婦初期の感染により胎児の心臓、目、耳に障害が起きる可能性があります。
- 2 血糖
妊婦初期の高血糖は胎児奇形を引き起こす場合があります。

妊婦12週頃に行う検査

- 3 血算(貧血の検査)
- 4 血液型・抗体スクリーニング
分娩時の大量出血や新生児の血液型不適合による黄疸に迅速に対応するための検査です。
- 5 梅毒検査・B型肝炎・C型肝炎・エイズ
母子感染対策が必要となります。
- 6 クラミジア抗原
流早産の原因や新生児肺炎の原因の一つと考えられています。
- 7 子宮頸部細胞診
若年者の子宮頸がんが増加しており、がん検診の対象年齢も平成16年度から20才以上になっています。

妊婦中期に行う検査

- 8 血算(貧血の検査)
- 9 血糖
妊娠の影響で中期以降妊娠糖尿病が発症することがあります。

妊婦後期に行う検査

- 10 膣分泌物培養
分娩時の産道感染で新生児の感染症が発症することがあります。
- 11 NST(ノンストレステスト)
赤ちゃんの健康状態を確認する検査です。

希望者に妊婦初期に行う検査

HTLV-I抗体、トキソプラズマ抗体、麻疹抗体、水痘抗体などがあります。詳細は各施設の担当医にお尋ねください。